



写真撮影： 田中園子

名称	岡山市錦認定こども園		
竣工	2018年3月	階数	地上1階
面積	(敷地) 3302.44 ² (建築) 311.23m ² (増築部分)		
CLT利用部分	壁、屋根	使用したCLT	86.65m ³
CLTサイズ	(最大) 150x 2,120x 8,730 mm (5層5プライ)		
構造	CLTパネル工法	設計ルート	ルート1
用途	認定こども園	防耐火要件	特になし
所在地	岡山市南区藤田610-11		
設計	(意匠) (株)丹羽建築設計事務所 (構造) (有) 西建築設計事務所		
施工	(株) 大原組		
特長	ルート1の構造計算で普通にCLTを用いると、箱形状に窓を開けるような普通の外観になるので、CLTの構造体を外壁より内側に設け、外壁面はすべてガラスのサッシ面とすることで、開放的な外観を実現。大きくCLT片持ちで出した庇を細い鉄骨柱で支持し、CLTのダイナミックな構造が際立つよう工夫している。		

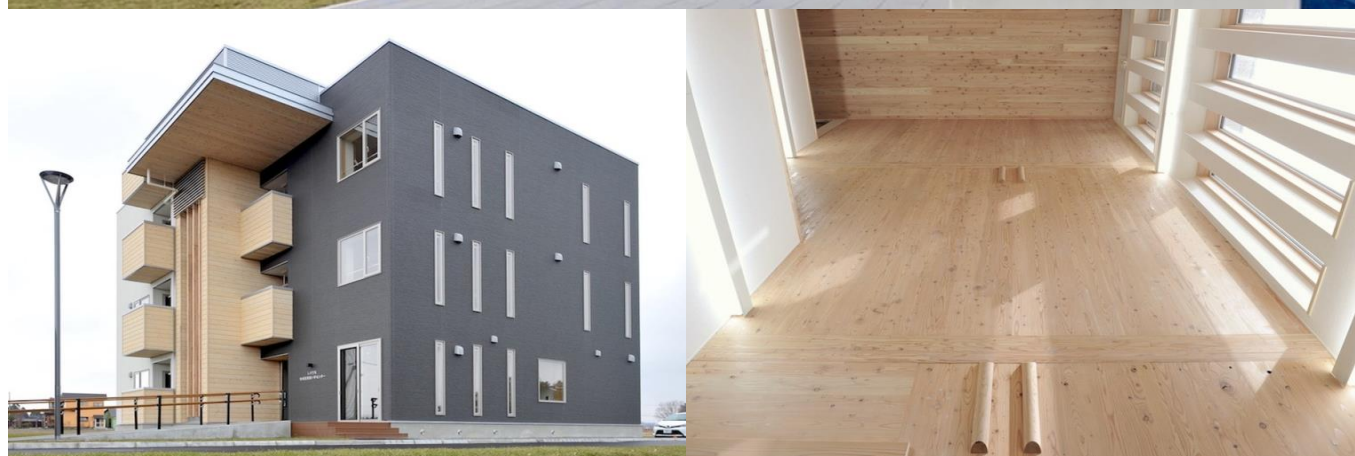


名称	真庭市立北房小学校・北房こども園		
竣工	2018年3月	階数	地上2階
面積	小学校：（延床）4,656.71m ² 、こども園：（延床）1,684.54m ²		
CLT利用部分	壁、床、天井、階段	使用したCLT	892.47m ³
CLTサイズ	（最大）150 x 3,000 x 11,850 mm（5層5プライ・7層7プライ）		
構造	（小）木造一部RC造、（こ）木造CLT	設計ルート	（小）ルート1（こ）ルート3
用途	小学校、こども園	防耐火要件	45分準耐火
所在地	岡山県真庭市下皆部289		
設計	（株）東畑建築事務所		
施工	小学校：梶岡建設・志田工業特定JV こども園：酒井工務店・ワイテック工業特定JV		
特長	<p>小学校は大断面集成材によるラーメン架構とし、教室間の耐力壁や体育館の屋根に部分的に活用し、こども園はCLTパネル工法と在来床組工法を組み合わせ活用している。木肌の色ムラが少なく、手触り、耐摩耗性に優れるひのきを外層、杉を内層（3層又は5層）としたCLTパネルを開発。こども達が見て触れる生活空間内の壁面にひのきを活用し、木に包まれた快適な空間を創出している。</p>		



写真撮影：サンカメラ

名称	北川村温泉 ゆずの宿		
竣工	2018年5月	階数	地下1階、地上2階
面積	(建築) 958.23m ² (延床) 1,475.74m ²		
CLT利用部分	壁、床、屋根	使用したCLT	404.39m ³
CLTサイズ	(最大) 150 x 3,000 x 9,705 mm (5層5プライ)		
構造	CLTパネル工法一部木造軸組工法	設計ルート	ルート3
用途	ホテル・旅館	防耐火要件	なし(一部RC造耐火建築物にて別棟)
所在地	高知県安芸郡北川村小島121		
設計	(意匠) (株)倉橋建築計画事務所 (構造) (株)日本システム設計 (設備) (株)エネ・グリーン		
施工	(株)田邊建設		
特長	温泉宿泊施設で全国初のCLT活用の取組み。CLT現しを適切なコストで実現するため、一部をRC造耐火建築物として別棟に分け、準耐火が不要な規模に抑えている。2階宿泊室の壁をウォールガーダー(壁梁)とし、1階の壁柱で支える長スパン架構とし、告示されたCLTパネル工法かつ、1階のロビー・ラウンジ・レストラン等のパブリックエリアは壁の少ない開放的な空間としている。		



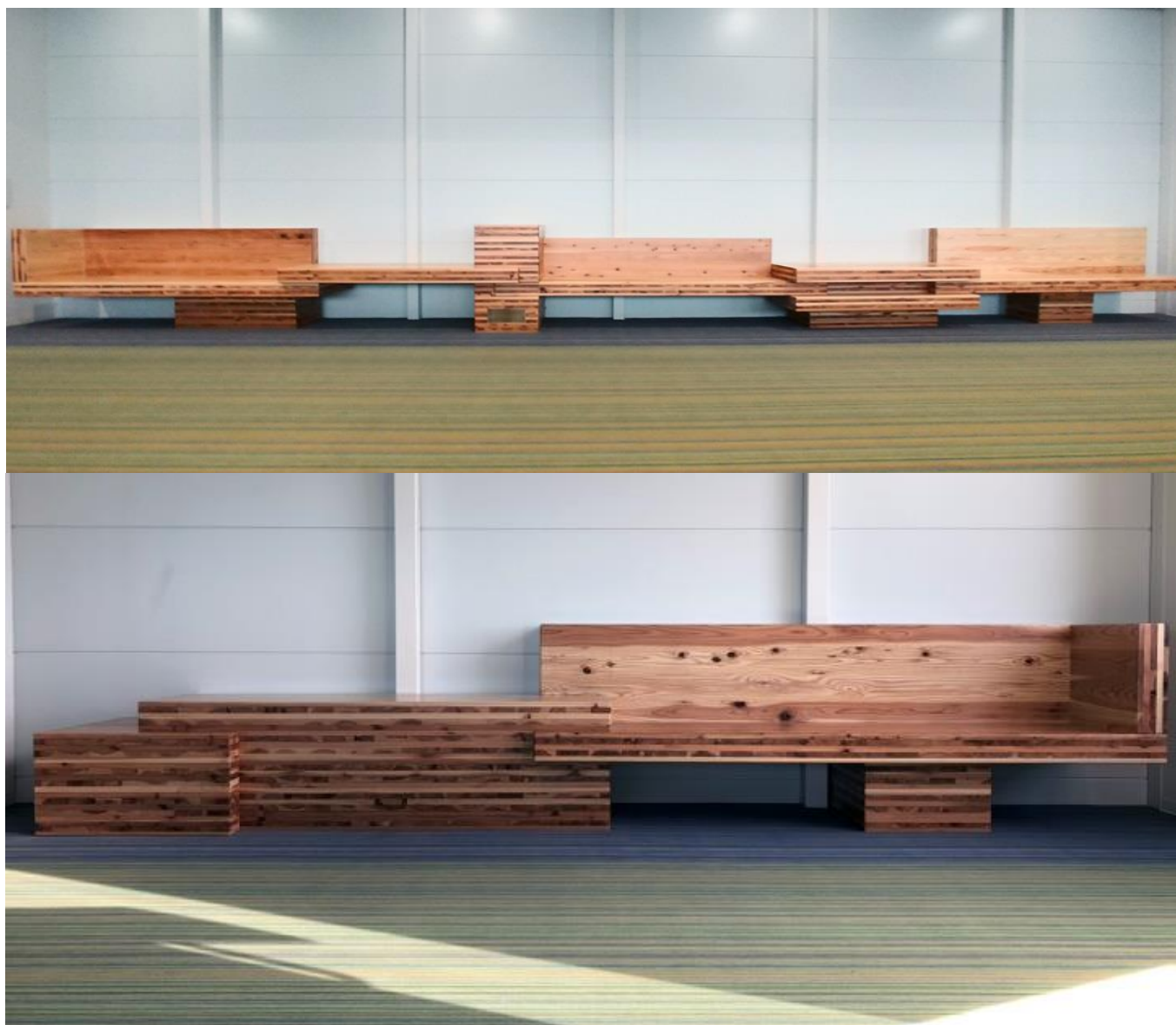
写真提供：(株)日本システム設計

名称	しりうち地域産業担い手センター		
竣工	2018年3月	階数	地上3階
面積	(建築) 147.8m ² (延床) 366.7m ²		
CLT利用部分	壁 (A棟)	使用したCLT	52.9m ³
CLTサイズ	(最大) 90 x 990 x 2,860 mm (燃えしろ部は厚150mm)		
構造	CLTパネル工法 (A棟)	設計ルート	ルート3
用途	研修施設・居住施設	防耐火要件	準耐火60分 (一部燃えしろ設計)
所在地	北海道上磯郡知内町重内31-104		
設計	(総合・設備・外構) 日本データサービス(株) (意匠・構造) (株)日本システム設計		
施工	(建築) 齊藤建設(株) (電気設備) (株) 繁田電工 (機械設備) (株) 岡田商会 (外構) 三和建设工業(株)		
特長	100%道産木材使用の地材地消プロジェクトであり、カラマツCLT壁パネルとカラマツ集成材床パネルを組み合わせている。燃えしろ設計対応の鋼板挿入ドリフトピン工法による接合金物を見せないCLTパネル工法。ケイミュー施工事例コンテスト2018入賞。		



写真撮影：三崎利博

名称	(株)シンコール社屋		
竣工	2018年5月	階数	地上2階
面積	(建築) 438.41m ² (延床) 746.37m ²		
CLT利用部分	1階壁天井、2階床壁天井	使用したCLT	187.4m ³
CLTサイズ	(最大) 210 x 2,000 x 8,000 mm (5層5プライ)		
構造	CLTパネル工法	設計ルート	ルート1
用途	展示場兼事務所	防耐火要件	防火構造
所在地	香川県高松市郷東町23-2		
設計	(意匠) 島田治男建築設計事務所 (構造) (株)ティ・ティ・アール設計		
施工	(建築) (株)菅組		
特長	<p>入り口正面の壁を表しにし、天井は基本的に県産材ヒノキを使用したハイブリッドのCLTを使用。CLTを部分的に表しとすることで、スラブに用いて厚みもある木口を見せることで、構造体である事を認識させ、他構造にはない構造的な安心感と柔らかさを見せるている。一般的な事務所空間である固いイメージではなく、空間全体を柔らかくCLTが包んでいる。</p>		



写真提供：宮城県CLT等普及推進協議会

名称	仙台空港ピア棟CLTベンチ		
竣工	2018年10月	階数	－
面積	ベンチ4基合計（タイプA2基+タイプB2基）：17.22m ² （ベンチの投影面積）		
CLT利用部分	ベンチ全体	使用したCLT	5.19m ³ （4基合計）
CLTサイズ	（最大）120×5502,650mm（5層5プライ）		
構造	ボルト締め、ビス止め	設計ルート	該当無し
用途	ベンチ	防耐火要件	該当無し
所在地	宮城県名取市下増田字南原		
設計	（株）SPAZIO建築設計事務所		
製作・施工	制作：守屋木材（株） 組立て：（株）奥羽木工所		
特長	ベンチ端部の片持ち形状や、2種類のパーツが組み合いながら連続することで、ベンチ全体が総合的に安定する「総持ち」の構成としている。また、CLT材の木口面を正面に向けて積み重ねることで、木材の立体的な量感を感じ取れる。ベンチ形状は、座面の高さを3種類とする事で、座り方にバリエーションを持たせ、年齢や性別、利用シーンに合わせて座り方が選択できる。		



写真提供：エムロード環境造形研究所

名称	下仁田町交流防災ステーション		
竣工	2018年3月	階数	地上1階
面積	(建築) 408.20m ² (延床) 391.09m ²		
CLT利用部分	耐力壁 (構造用面材)	使用したCLT	6.50m ³
CLTサイズ	(最大) 36×910×3,720mm (3層3プライ)		
構造	木造軸組構法	設計ルート	ルート1
用途	公共施設	防耐火要件	なし
所在地	群馬県甘楽郡下仁田町馬山長割3768		
設計	(意匠) エムロード環境造形研究所 (構造) ホルツストラ		
施工	神戸土木		
特長	隣接する道の駅の機能を補完するコミュニティ施設。地場の職人技術だけで施工できる中大規模施設建築を目指し、在来軸組工法に36mm薄板CLT構造用面材を利用したAパネ工法 (在来軸組構法+薄板CLT構造用面材) が採用された。仕上げと構造を兼ねた薄板CLTが室内外に現しで使用されている。		



写真提供：エムロード環境造形研究所

名称	川和自然公園・総合案内所		
竣工	2018年3月	階数	地上3階
面積	(建築) 213.21m ² (延床) 318.38m ²		
CLT利用部分	床、天井	使用したCLT	50.10m ³
CLTサイズ	(最大) 210×2,275×10,000mm (7層7プライ)		
構造	木造軸組構法	設計ルート	ルート1
用途	公共施設	防耐火要件	なし
所在地	群馬県多野郡川和665		
設計	(意匠) エムロード環境造形研究所 (構造) 桜設計集団一級建築士事務所		
施工	黒澤建設		
特長	210mm厚、最大長さ10mのCLT板を床材、150mm厚のCLT板を屋根材として、在来軸組工法と併用したコミュニティ施設。大スパンとバルコニーの跳ね出しを実現するためにCLTを部分利用した。地場産の杉材をラミナに使用した県内初のCLT建築。		



写真提供：なかむら建設(株)

名称	なかむら建設(株) 明和事務所		
竣工	2018年7月	階数	地上1階
面積	(建築) 243.46m ² (延床) 240.14m ²		
CLT利用部分	壁	使用したCLT	15.18m ³
CLTサイズ	60 x 905 x 2,750 mm		
構造	木造軸組工法+CLT壁(耐力壁)	設計ルート	ルート1
用途	事務所	防耐火要件	無し
所在地	三重県多気郡明和町明星2968		
設計	一級建築士事務所 佐々木設計		
施工	なかむら建設(株)		
特長	木造軸組工法に60mm厚CLTを耐力壁兼仕上材(室内現し)として使用。意匠性を考慮して、ビス等の金物が表面に出ない、裏面金物止めとしている。本物件で採用した工法は、壁倍率の大臣認定を申請中であり、大臣認定取得後は、壁量計算のみで設計が可能になる。		



写真提供：守屋木材(株)熊谷

名称	守屋木材(株) 宮城野寮		
竣工	2018年12月	階数	地上2階
面積	(建築) 254.40m ² (延床) 408.72m ²		
CLT利用部分	壁、床、階段	使用したCLT	135.96m ³
CLTサイズ	(最大) 210x 2,350 x 10,120mm (5層7プライ)		
構造	CLTパネル工法	設計ルート	ルート2
用途	寄宿舍	防耐火要件	45分準耐火
所在地	宮城県仙台市宮城野区萩野町		
設計	(設計・監理) 盛総合設計 (構造・監理) 福山弘構造デザイン		
施工	(施工) 奥羽木工所 (木工事) キムラ建業 (電気) 守屋電気 (機械設備) 金華工業商会		
特長	100%宮城県産材CLTを利用した社員寮。木製サッシ等にも宮城県産材を使用し、また一部、宮城県杉材のFSC材を利用。 燃えしる設計をおこなうことで、構造体であるCLTを内外部あらわしで仕上げ、どこにいても木の温かみを感じることができる空間としている。		



(c) 株式会社 松島建設



(c) 株式会社 松島建設



(c) 株式会社 松島建設

写真提供：(株)松島建設

名称	介護老人保健施設 八祥苑		
竣工	2018年2月	階数	地上1階
面積	(敷地) 25,257.84m ² (建築) 2,289.44m ² [全体9,584.24m ²] (延床) 2,204.98m ² [全体8,893.60m ²]		
CLT利用部分	壁、床	使用したCLT	546.82m ³
CLTサイズ	(最大) 150x 2,775 x 9,160 mm (5層5プライ)		
構造	CLTパネル工法	設計ルート	ルート1
用途	介護老人保健施設	防耐火要件	その他
所在地	熊本県八代郡氷川町 今字西作181、早尾字下八ツ川132		
設計	(意匠・構造) (株)太宏設計事務所 (設備) 弦設備設計事務所		
施工	松島建設・松下組工事共同企業体		
特長	架構形式「大版パネル架構」を採用し、CLT告示仕様(ルート1)に従って設計を行った。大版パネルの比率が増えることによって、小版パネル加工よりコストは下がる方向に向かう事が確認できた。但し、大版パネルの搬入、仮置きに敷地の余裕が必要である。		



写真提供：(株)梶谷建設

名称	(株)中東 集成材工場		
竣工	2018年3月	階数	地上1階
面積	(建築) 1993.82m ² (延床) 1993.82m ²		
CLT利用部分	壁、梁	使用したCLT	127m ³
CLTサイズ	(最大) 210 x 600 x 5,780mm (5層7プライ)		
構造	木造軸組工法+CLT壁(耐力壁)	設計ルート	
用途	工場	防耐火要件	準耐火建築物
所在地	石川県能美市岩内町ヤ1-9		
設計	(意匠) (株)SALHAUS (構造) 桜設計集団		
施工	(株)中東、(株)梶谷建設		
特長	集成材の柱梁による構造に、約4mの大きなCLTパネルを耐力壁として用い、大架 構建築へのCLTの利用事例としている。窓とCLTパネルの納まりを屋外から作業が できるようにし、CLTの採用により内装仕上げが不要になったことで、約2週間の 工期短縮が可能となった。		



写真提供：ウエノアトリエ

名称	シネジック(株) 新社屋		
竣工	2018年12月	階数	地上2階
面積	(建築) 633.75m ² (延床) 834.81m ²		
CLT利用部分	壁、屋根	使用したCLT	60.93m ³
CLTサイズ	(最大) 150 x 1,000 x 4,500 mm		
構造	木造(在来軸組工法・CLT)一部鉄骨造	設計ルート	ルート1
用途	事務所	防耐火要件	準耐火建築物(口準耐)
所在地	宮城県富谷市成田1-5-9		
設計	(建築) ウエノアトリエ (構造) ホルツストラ+KMC		
施工	八光建設(株)		
特長	外壁耐火構造(口準耐)を採用し燃え代設計を要しない計画としている。それにより屋根のトラスは105幅の住宅用一般流通材での構成が可能となり、繊細な木架構の実現と経済性を獲得している。平面トラスをCLTパネルで引き寄せて繋ぐことで滑らかに覆う立体的な屋根形状をつくり出している。		



写真提供：ライフデザイン・カバヤ(株)

名称	エヌイーシール(株)下加茂社員寮		
竣工	2018年11月	階数	地上2階
面積	(延床) 422.24m ²		
CLT利用部分	2階床、屋根の水平面	使用したCLT	85.54m ³
CLTサイズ	(最大) 150×3,000×5,700mm (5層5プライ)		
構造	木造軸組構法+CLTパネル	設計ルート	—
用途	共同住宅	防耐火要件	防火構造
所在地	岡山県加賀郡吉備中央町下加茂1116-1,-4,-5		
設計	(株)GEN設計		
施工	ライフデザイン・カバヤ(株)		
特長	基本構造は木造軸組工法とし、水平面のみにCLTパネルを利用した。バルコニーと開放廊下の軒天は現しとなっている。		



写真提供：福山弘構造デザイン・菊池建設(株)

名称	安永寺本堂新築工事		
竣工	2018年8月	階数	地上1階
面積	(建築) 169.76m ² (延床) 153.82m ²		
CLT利用部分	屋根	使用したCLT	13.13m ²
CLTサイズ	(最大) 96x 3,000 x 5,700 mm		
構造	RC造一部木造 (在来軸組工法・CLT)	設計ルート	4号建築物
用途	寺院	防耐火要件	
所在地	埼玉県狭山市大字上奥富字戸張213-1		
設計	福山弘構造デザイン		
施工	菊池建設(株)		
特長	<p>寺院の建築様式性を見直し、簡素な東屋のような造形と大きな軒から内部にまたがる天井面を伝って入り込む光と陰影を、CLT面と軸組の垂木組との組み合わせによって作り出す試み。CLTは軒桁・軒垂木・軒垂木・内部天井そして上部円形垂木架構を支えるスラストリングとしての役割を担っている。両方向への性能が求められるため、3層3プライに1層増し張りした4層4プライのCLT材を使用した</p>		